

～釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～

釜石地方森林組合は、地域けん引型林業経営体として森林所有者(組合員)との間で長期施業受託を行い森林整備を推進しています。その中から、森林約200ha(38名の長期施業受託契約締結済み)を対象にプロジェクトを計画、4,265t(うち、バッファ一分125t)の認証・発行を受けています。

プロジェクトの実施場所	岩手県釜石市
吸収量(予測)	年間 2,084 t-CO ₂
在庫量	2,337 t-CO ₂ (2011年9月現在)
クレジットの次回発行予定	東日本大震災の影響のため、未定
1t-CO ₂ あたりの希望単価	応相談

ここ数年は、森林の成熟期が到来するとともに、利用間伐を中心に行ってきましたが、木材価格の低迷が伐採跡地の更新を困難にし、森林所有者の山離れ、林業従事者の減少という問題を抱えています。そこで、持続可能な森林経営を計るため、当組合ではJ-VER制度の導入とともに、施業集約化事業(小規模山林所有者の団地化)、林地残材の有効活用(バイオマス事業)に取り組み、着実に成果を上げてきました(右図参照)。

そうした中、2011年3月11日に発生した東日本大震災・・・当組合は事務所喪失、組合長他職員・組合員が亡くなるなど、大きな被害を受けました。現在は仮設事務所において業務を何とか続けておりますが、この状況から早く脱却し、適切な森林管理とバイオマス事業を元の軌道に乗せるべく邁進して参りますので、是非ともご理解・ご協力お願い致します。



釜石市緑のシステム創造事業

■担当者連絡先(※当面の間、下記の者が代理します)
 東京農業大学農山村支援センター学術研究員
 今野知樹
 TEL: 03-5477-2678
 EMAL: konno_tomoki@nousanson.jp